

平成艸紙



おりおりの記

ナパの旅

SMBC日興証券
代表取締役会長

相京 重信

昨夏、カリフォルニアのナパ・バレーを旅行した。シリコン・バレーに勤務する息子夫婦が珍しくも「ワイン好きの親父の為に」と計画を練ってくれた。「どうせ費用は…」と彼らの魂胆は見え見えながらも、この「全てお任せ」プランに乗り私達夫婦、息子夫婦と犬一匹の旅が始まった。

サンフランシスコからハイウェイを突っ走り田園風景に見とれているうちにナパに到着。どんよりとした霧の都から1時間強。ガラッと天気が変わり、透き通るような青空、燦々と輝く明るい太陽、爽やかな気候で気分も明るくなる。まずはナパワインと意気込みカプコンの創始者辻本憲三さんのKENZO ESTATE WINERYへ。見学とランチにワイン。「葡萄の美酒 夜光の杯 飲まんと欲すれば…」王翰の涼州詩がふと頭をよぎる。世界が認めるKENZOワインをテイasting。バックスの神に感謝し、ワイナリーに別れを告げ、ナパの町に向かう。緑の並木道、瀟洒な家々、何処も彼処も絵葉書のような素晴らしい町並みに時間を忘れた。その後、行き当たりばったりのレストランに飛び込み、再びナパのワインを楽しんだ。

翌日はワイントレインだ。往復数十キロを約3時間かけゆっくりと走る観光列車。駅の待合所ではワインがサービスされる。お土産用には百種類以上のワインが置いてある。ワイングラスを傾けていると乗車時間になる。西部劇に登場するようなアンティークな列車だが中は綺麗に改装されている。走り出

すとすぐに車窓から広大なワイナリーが目に飛び込んでくる。緑の葡萄畑だ。乗務員が親切に説明してくれ否が応でも雰囲気は高まる。車内は豪華な席、カジュアルな席、ラウン



ジ、展望席等々有り、どこでもワインが飲める。ゆったりと時間が流れ、食事とワインを楽しんでいる内に、列車は往復し出発駅に戻った。陽気で愛想の良い車掌が見送ってくれる。車に乗り換え並行する国道を走ると、右に左に前に後ろにワイナリーだ。気の向いたワイナリーにふらりと立ち寄る。綺麗に手入れされた庭園が素晴らしい。趣向を凝らしたテイastingルームがまた洒落ている。有料だが数種類のワインをテイastingさせてくれる。微妙に味が違いどれも美味しい。円高の恩恵も受け5か所ワイナリーに立ち寄った。オーパスワンも、ベリンジャーも。ナパワインを満喫しまさに至福の時を過ごした。

その後ヨセミテ国立公園に寄り帰国の途に就いた。まさにワイン三昧の夏休みであった。ポリフェノール効果なのか、息子との距離が縮まったような気がする。